

「道路・鉄道・消えた駅」

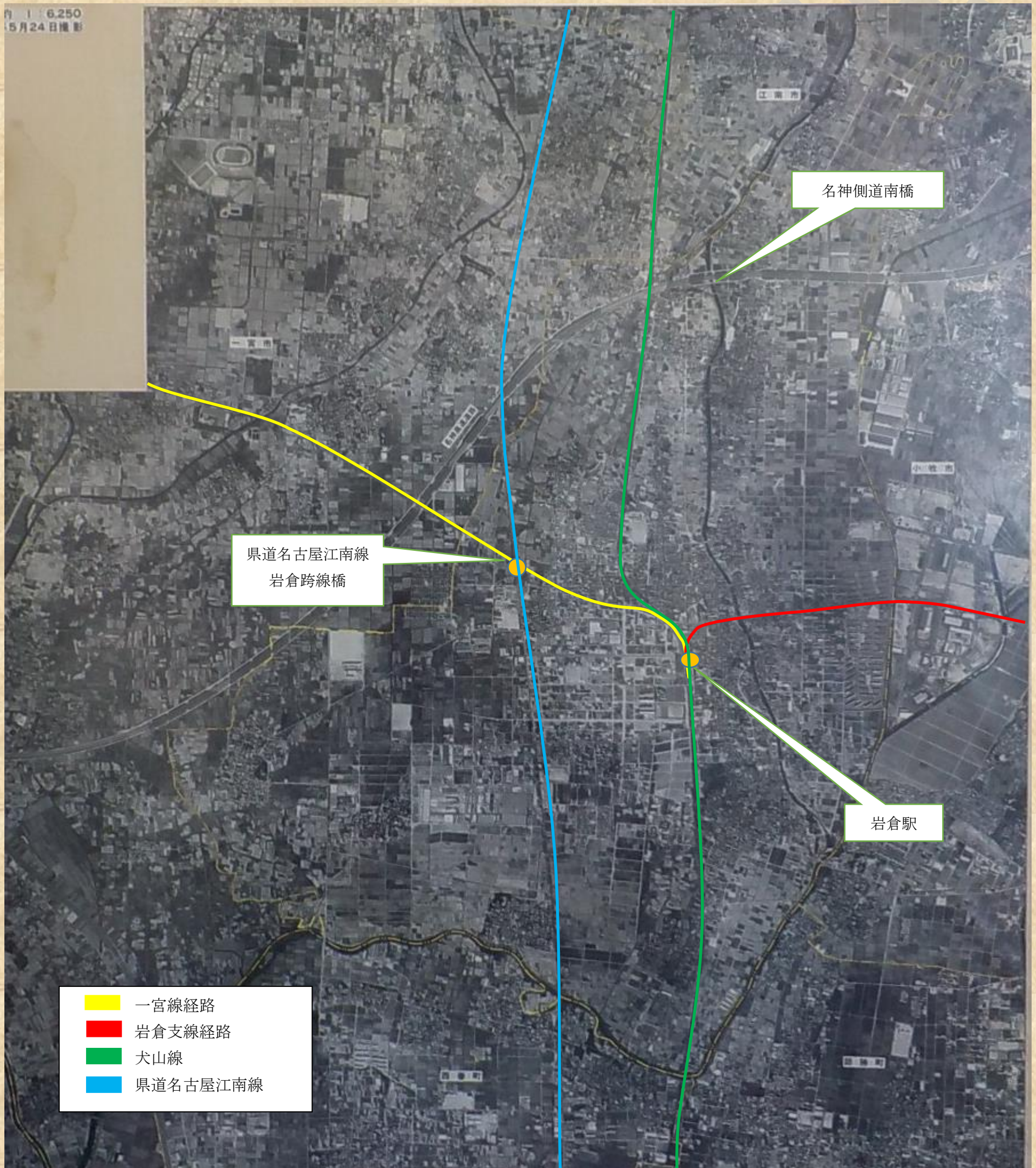
今回の企画展は、「道路・鉄道・消えた駅」と銘打って、市内の交通の変遷をとりあげました。県道名古屋江南線（名草線）にあった岩倉跨線橋の銘板などから岩倉の町がどのように発展していったかについて想像頂けたらと思います。

○岩倉市全域航空写真

岩倉市全域の航空写真。昭和48年（1枚目）と平成13年（2枚目）。郷土資料室で保管しているもの。

県道名古屋江南線（名草線）沿いに建物が増えている点や県道萩原多気線、県道一宮春日井線等の整備が進んでいることが確認できる。

昭和48年撮影



平成 13 年撮影



撮影 平成13年 9月20日
縮尺 1 : 4,000

—岩倉駅—

名古屋電気鉄道郡部線を中心駅の一つとして整備された。名古屋から犬山、小牧、一宮といった尾張北部の全ての地域は岩倉を経由して結ばれおり、それに見合うように洋風の木造駅舎、レンガ作りの変電所、数十両の車両を収容できる巨大な車庫等が整備された。岩倉駅開業に伴い、旧岩倉街道沿いの住宅地と岩倉駅を結ぶ道路が整備され、現在の岩倉の町の原型が作られていった。



岩倉駅旧駅舎

昭和初期撮影。現在の駅が完成する昭和 40 年まで使用された。

—岩倉市内の鉄道沿革—

○未実施の鉄道整備計画

明治 29 年	尾張鉄道計画（名古屋～犬山）	⇒計画消滅
明治 30 年	名古屋鉄道計画（名古屋～富山）	⇒計画消滅
明治 31 年	尾濃鉄道計画（一宮～岩倉～小牧～高蔵寺）	⇒計画消滅
明治 38 年	尾張電気鉄道計画（名古屋～岩倉～一宮）（岩倉～犬山）	⇒名古屋電気鉄道計画採用
明治 39 年	一宮電気鉄道計画（名古屋～岩倉～一宮）	⇒名古屋電気鉄道計画採用

○名古屋電気鉄道株式会社

明治 39 年	郡部線出願（名古屋～岩倉～一宮～犬山）
大正元年 8 月 6 日	枇杷島～岩倉～西印田 開通 岩倉駅、稻荷前駅開業 一宮線（現在の犬山線枇杷島分岐～岩倉と一宮線（廃線）） 岩倉～犬山 開通 石仏駅開業 犬山線（現在の犬山線岩倉～犬山）
大正 2 年 1 月 25 日	西印田～東一宮 開通（一宮線（廃線））
大正 4 年 2 月 5 日	大山寺駅開業
大正 9 年 9 月 23 日	岩倉～小牧 開通（岩倉支線（廃線））

○名古屋鉄道株式会社（名古屋電気鉄道から事業継承）

大正 10 年 7 月 1 日～	
昭和 16 年	新名古屋駅（現在の名鉄名古屋駅）開業に伴い、枇杷島橋～新鵜沼間を犬山線に、 岩倉～東一宮間を一宮線へ変更
昭和 19 年	稻荷前駅休止 中市場停車場休止
昭和 39 年	岩倉支線廃止 中市場停車場廃止 国道 41 号線のバイパス工事との交差問題により廃線
昭和 40 年	一宮線廃止 国道 22 号線のバイパス工事との交差問題により廃線
昭和 44 年	稻荷前駅廃止

—岩倉跨線橋—

昭和30年、県道名古屋江南線（名草線）の建設にあたり、名古屋鉄道一宮線との交差箇所に建設された。
昭和40年の一宮線廃線により跨線橋の必要性がなくなったが、平成28年の平面交差化工事開始まで存続した。

線橋銘板写真



解体風景写真



—当時跨線橋の建設当時の様子 工事に関わられた人からの聞き取り—

○県道名草線の高架橋造成の思い出

今、名草線（名古屋江南線）の高架橋を取壊し、平面交差化の工事が進められています。

名草線は名鉄電車一宮線を跨ぐ工事として昭和27年（1952年）頃から始められ、昭和30年（1955年）3月に完成し、名古屋から江南まで全線開通となりました。

当時、高架工事の土盛りをするために近くの畑の土を使用しました。工事は今のようダンプカーや重機もなく、すべて人力に頼る造成工事でした。

「トロッコ」という四輪の木の箱（1.5m×2m）で簡単なレールを設置して2人がかりで押して運ぶと言う大変な作業です。土が盛り上がるにつれてドンドン急な坂道となり、よくぞ頑張ったものだと思います。

当時畑の土を提供した地主（10名以上）はこの土地を病院建設に売却する予定でしたがその後進出がだめになりました。

地主は業者を通して岩倉町に話をし、当初消防署の案もありましたが最終的には今の総合体育文化センターになりました。

造成途中請負会社の倒産があり、工事の完成が遅れるという一幕もありました。

中村賢三 談

—岩倉市内の県道整備—

昭和 31 年	戦後での市内最初の県道として名古屋江南線（名草線）認定
昭和 34 年	小口岩倉線 小牧岩倉一宮線 岩倉停車場線 石仏停車場線
昭和 41 年	浅野羽根岩倉線
昭和 47 年	岩倉西停車場線
平成 5 年	春日井一宮線

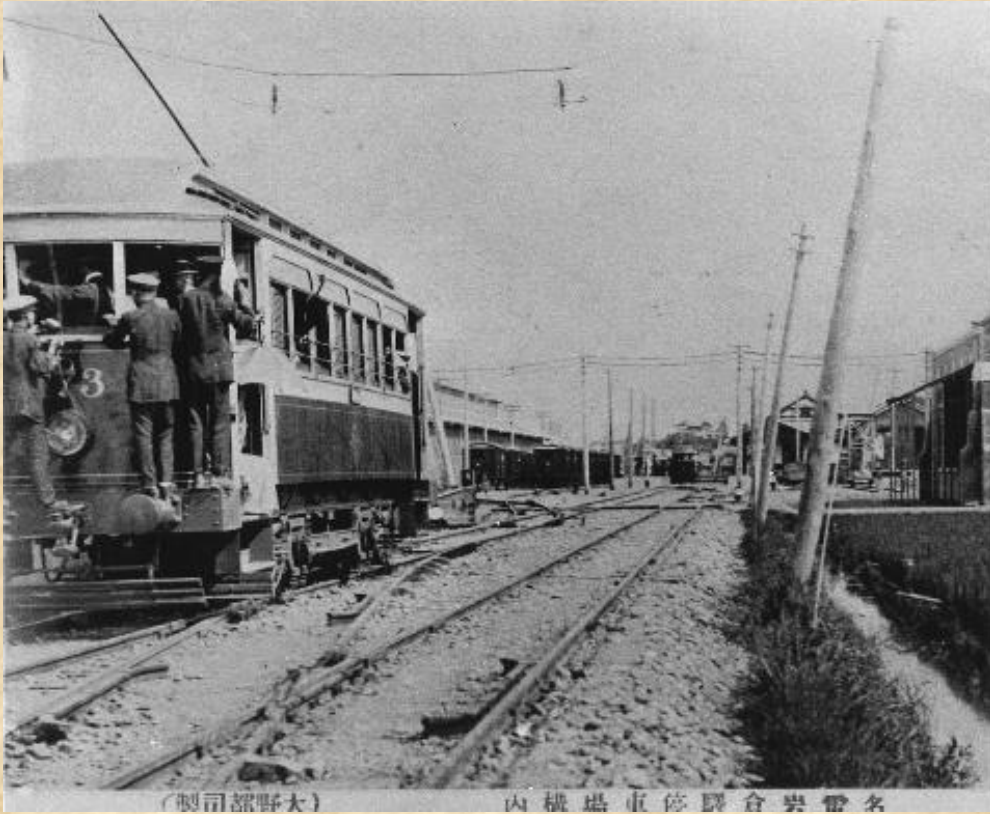
—名神側道南橋—

昭和 36 年に作られた名神高速道路の南側にある側道が五条川を渡る橋。昭和 40 年に作られた。



—鉄道の写真—

岩倉駅は、大正の頃から東西南北全ての方向に鉄道が敷設された交通の要衝でした。現在は廃線によりバス路線になっている一宮線や岩倉支線などを当時の写真から振り返ります。



○岩倉駅

大正初期の撮影。南側から写している。変電所が写りその手前は水田である。



○石仏駅

旧石仏駅。撮影は昭和56年。



○岩倉駅変電所

明治45年、岩倉駅に建設された、煉瓦づくりの建物である。昭和34年の変電区廃止まで使用された。現在、明治村に移設されて保存されている。また、国登録有形文化財に登録されている。



○岩倉支線
現在の神明大一社付近。



○岩倉支線
五条川の鉄橋。現在の豊国橋が架かっている地点で右手には小木新道への橋が写っている。



○岩倉支線
現在の神明大一社前。奥に岩倉市役所（旧庁舎）の火の見櫓が見える。



○一宮線

昭和 14 年撮影。バス化して跡かたもないが、複線であり、東一宮・名古屋間直通の急行が走っていた。日中戦争から太平洋戦争中に不要不急線として単線に変更になった。



○一宮線

西市遠望。昭和 34 年撮影。手前に走っている線路が一宮線。

—参考文献—

- ・『写真集岩倉 明治・大正・昭和』 岩倉市郷土研究会編 1990年9月発行
- ・『岩倉市史』 岩倉市史編集委員会編 1985年12月発行

—資料提供—

- ・岩倉支線の写真は、加藤淳氏のご協力により展示を行いました。貴重な資料をご提供いただきありがとうございました。